

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前には、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書はいつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

●引越し等により転出される場合は、この取扱説明書を次期入居者または、管理人に必ずお渡しください。

●この取扱説明書を紛失または汚損した場合は再発行いたしますので、当社までお申し出ください。

取扱説明書

この取扱説明書はお客様が、本製品を末長く適正な使用をしていただくための説明、注意事項が記載しております。必ずお客様のお手元にて保管しておいてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

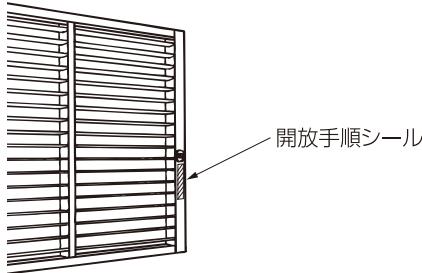
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷並びに財産の損害を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または製品の寿命をいちじるしく短くする可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

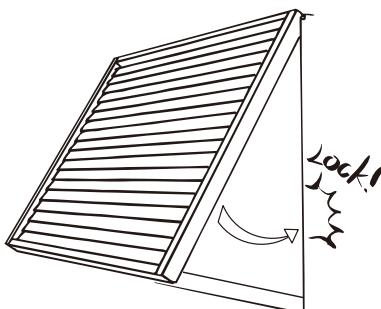
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

!**警告**

- ! 非常時には開放手順に従って開放させてください。
(開放手順を示したシールは解除レバー付近に貼ってあります。)



- ! 通常時に面格子を開放した場合、ご用が済んだあとは必ず面格子全体を完全に本体枠に納め、ロックされるまでしっかりと閉めてください。



- ! 開閉操作時には、面格子本体と本体枠の間に手・指などを挟まないようしてください。

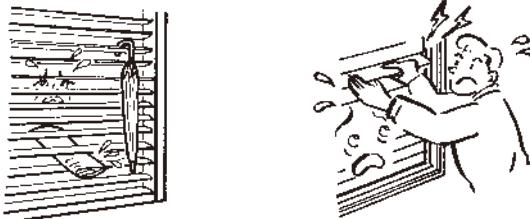


- ! 防犯上、ご就寝時やお出かけの際は、必ず窓を閉じ、施錠してください。
※ 非常開放時に面格子が軀体等に接触しないように注意して下さい。
破損の原因になります。

⚠ 注意

本製品の開閉装置は非常時の開放を想定しています。
日頃より（半年に1度程度）開閉操作がスムースに行えるか定期的に点検してください。

「羽根」に物を吊したり、「羽根」と「羽根」の間に物をはさまないでください。又、「羽根」を手などでムリに動かしたり、「羽根」にムリな力を加えないようにしてください。



上下の桟 および 羽根にほこり、雨水が付いたときは、
こまめに拭きとってください。



面格子本体と本体枠との接触面にゴミ・異物が付かないようにしてください。

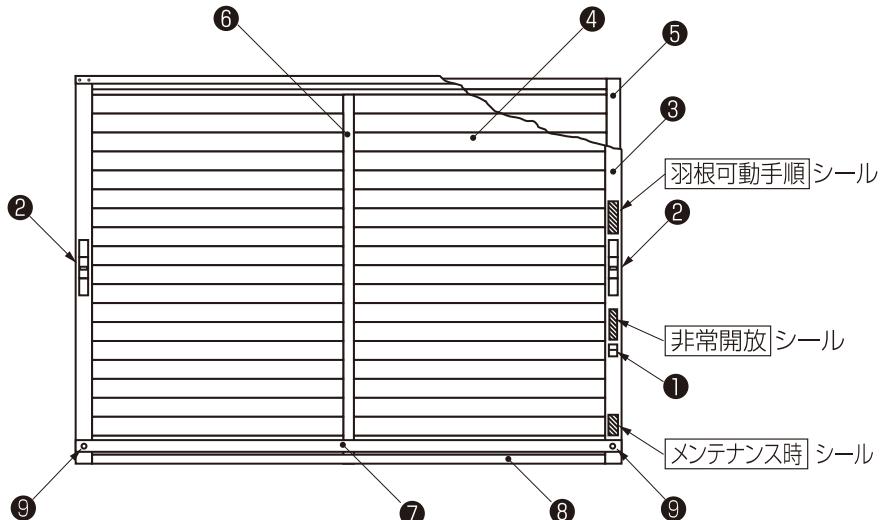


絶対に分解・改造は行わないでください。

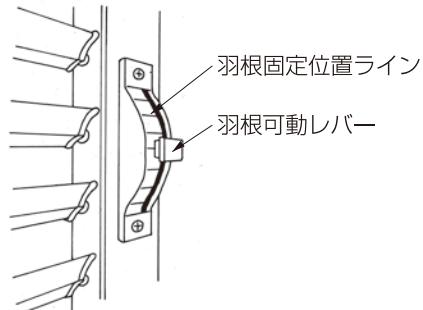
各部の名称

3

■面格子ユニットの内観および部品名称(室内側から見たとき)



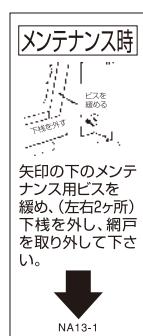
- ① 非常開放装置
- ② 羽根可動レバー
(1ヶ所のタイプもあります。)
- ③ 本体枠
- ④ 羽根
- ⑤ 面格子本体
- ⑥ 面格子本体中枠
(中枠無しの場合もあります。)
- ⑦ 下桟
- ⑧ 本体下桟
- ⑨ メンテナンス用ビス



← 非常開放 シール
羽根可動手順 シール →



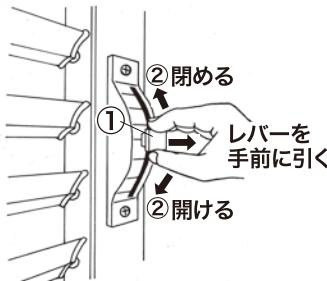
メンテナンス時
シール



羽根可動の方法

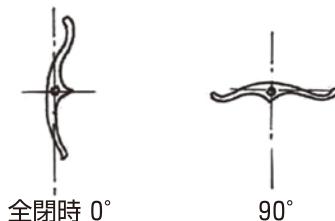
- 留守をされる時、またはお休みの時は、防犯上全閉にされることをお勧めします。
- 長期間操作をしないと、スムースに作動しなくなるおそれがあります。少なくとも1ヶ月に2~3回は開閉してください。
- 羽根可動時に、部品・部材の摩擦による音が発生することがあります。経年による油ぎれや、ごみ又はほこり・異物による可能性があります。そんな場合は、ほこり等をふき取り、軸・レバー部に市販のシリコンスプレーを注油してください。

羽根可動は「羽根可動レバー①」を手前に引きながら上・下②の操作をしてください。



■羽根角度の固定は、羽根固定位置ラインに合せて「羽根可動レバー」を設定してください。

!
故障の原因になりますので必ずレバーを手前に引いてから操作してください。



■角度調整は、全閉時0°から90°まで自由に調整できます。【7段階】お好みの角度に設定ください。



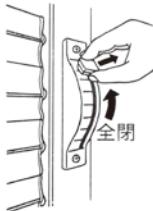
開閉操作の方法

5

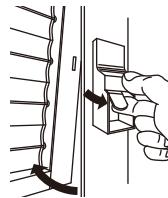
この面格子は非常開放面格子です。非常に場合に、室内側から開放するときは、この操作手順に従ってください。なお、開放手順を示したシールが、非常開放装置の付近に貼ってあります。

■日頃より(半年に1度程度)スムースに動作するか定期的に点検してください。

1 羽根を全閉にする



2 レバーを引く(ロック解除)

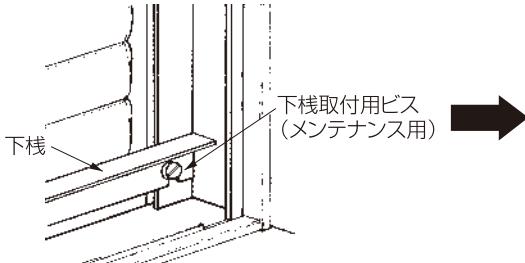


3 出来るだけ面格子の中央を押し上げ、すばやく避難してください。



※中桿無しの場合は、
下桿の中央を持って押し出してください。
※網戸が脱落しないようにご注意ください。

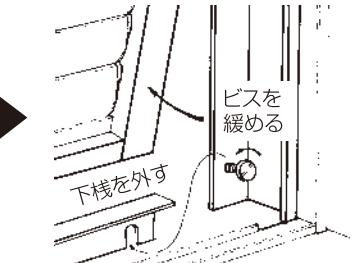
■網戸のお手入れについて



本体枠下側に取付のメンテナンス用ビス
(左右2ヶ所)を緩める。

注)ビスは緩めるだけで取り外さないでください。

※お手入れ終了後は必ず面格子を元に戻してください。



面格子を下から押し上げ、下桿を
外し、網戸を取り外してください。

日頃の点検について

6

非常時には面格子本体が確実に開放できて、安全な避難路が確保できるよう、日頃の点検を大切にしてください。

⚠ 注意

- ⚠ 日頃より(半年に1度程度)開閉操作がスムースに行えるか点検してください。

点検項目

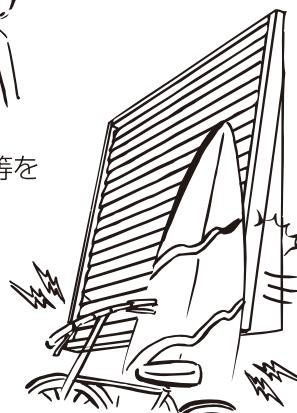
- 「開閉操作の方法」に示した方法で、確実に開閉できること



- 解除レバーの操作がスムーズにできるだけのスペースが室内側に確保されていること



- 外側窓枠下に、避難を妨げるようなもの等を置いていないこと



- 取付金物・ねじなどにゆるみがないこと

日頃のお手入れについて

7

日頃のお手入れは、製品を長く、安全にご使用いただくために大切なことです。

- 面格子はアルミニウム及び樹脂で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ、雨水等は腐蝕の原因になります。又、部材の摩擦により羽根可動や開閉操作が重くなりますので、定期的に掃除してください。
- 海岸地帯や交通量の多い地域は、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れの方法

- 上下の桟 および 羽根の両面には、ほこり、ごみ、異物などが付きやすいので、化学モップなどで念入りにお掃除をしてください。
- 洗剤をご使用の場合は、中性洗剤を薄めてお使いいただき、その後カラ拭きをしてください。



故障かなと思ったら

8

■次のような場合は故障ではありません。もう一度お調べください。

こんなとき	調べるところ	なおし方
面格子本体を開放できない	羽根が全閉になっているか	羽根を全閉にする
羽根が動かない	羽根可動レバーを手前に引きながら操作しているか	羽根可動の手順に従い操作してください
	羽根可動操作手順通りに操作しても動かない	ほこり等をふき取り軸部に注油する
羽根を開閉すると異常音がでる	羽根の回転軸部 （ 湿気やほこりが付くことにより、羽根回転軸部からこする様な音が発生する場合があります ）	ほこり等をふき取り軸部とスリット部に市販のシリコンスプレーで注油する。

■それでも異常がある場合は、お買い上げ店（工務店）または当社までご連絡ください。